

付録 用語説明集

【あ行】

頁数	用語	説明
2	一般廃棄物処理基本計画	廃棄物処理法に基づき市町村が策定する計画で、一般廃棄物の発生量及び処理の見込み、一般廃棄物の排出の抑制のための方策に関する事項、分別収集する一般廃棄物の種類及び分別の区分等について定めています。
1	エネルギー問題	化石燃料などの資源エネルギーの大量消費に伴う地球環境破壊の問題と化石燃料に代わる代替エネルギー開発（再生可能エネルギー等）の問題をいいます。
13	エコセメント	焼却灰を前処理した後、1,350℃以上の温度で焼成し、石こうなどを加えて粉砕した粉です。建材用材料としてセメントの原料として使用します。

【か行】

頁数	用語	説明
30	加重平均	平均値の算出方法のひとつ、平均する各項の条件の違いを考慮に入れ、対応する重みをつけてから平均する方法のことです。
18	間欠運転	一日24時間連続稼働をしないごみ焼却施設のことです。
3	ごみ質	ごみの物理的あるいは化学的性質の総称であり、通常、三成分（可燃分、灰分、水分をいいます。）、単位体積重量（見かけ比重）、物理組成（種類別組成）、化学組成（元素組成）、及び低位発熱量等でその性質を表示します。

【さ行】

頁数	用語	説明
3	サーマルリサイクル	廃棄物等から熱エネルギーを回収すること。廃棄物の焼却に伴い発生する熱を回収し、廃棄物発電をはじめ、施設内の暖房・給湯、温水プール、地域熱暖房等に利用している例があります。なお、サーマルリカバリーともいいます。
2	循環型社会	廃棄物等の発生抑制、循環資源の循環的な利用及び適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り抑制される社会をいいます。
3	循環型社会形成推進基本法	この法律は、省庁ごとに個別に取り組みられてきた廃棄物処理および再資源化関連法を総括する基本的枠組み法です。
7	焼却残さ	ごみ焼却施設から最終的に搬出される残さのことです。ただし、溶融固化物は含みません。
7	スラグ	ごみ又は焼却残さを溶融することにより液状化した無機物を、冷却して固化したものをいいます。
2	ゼロ・ウェイスト	出てきた廃棄物をどう処理するか、ではなく、「そもそもごみを発生させないようにする」という考えです。
2	総合計画基本構想	中長期的な市政運営の基本指針として、鎌倉市の市民憲章の基本理念を継承し、環境と調和した豊かな市民生活を実現するため、市民と行政が協働して描いた将来都市像とまちづくりの基本理念、将来目標、基礎的な指標及び基本構想実現に向けた基本方針が定められたものです。

【た行】

頁数	用語	説明
27	低位発熱量	ごみ中の可燃分の燃焼によって発生した総発熱量から、燃焼によりごみ中の水分が変化した水蒸気の凝縮潜熱を差し引いたものをいいます。真発熱量と呼ばれることもあります。単位は「kJ/kg」で表示されます。

【は行】

頁数	用語	説明
2	バイオマス	もともと生物 (bio) の量 (mass) のことですが、再生可能な生物由来の有機性エネルギーや資源（化石燃料は除く）を指します。
19	破碎残さ	不燃ごみや粗大ごみを破碎・選別処理した後、有価物として資源化できない残りの無価物のことです。
38	発生蒸気	ごみを焼却する時に発生する高温排ガスの持つ熱エネルギーは、排ガス中にボイラを設けることにより、蒸気エネルギーに変換することができます。この蒸気エネルギーは、過熱蒸気の状態回収します。なお、蒸気圧力の単位はPa（パスカル）で、1 m ² につき1 N（ニュートン）の圧力のことです。ちなみに、3 MPaとは約30気圧（atm）になります。

【ま行】

頁数	用語	説明
55	メタン発酵	メタンガスの回収に適したごみを微生物で嫌気性分解することをいいます。

【や行】

頁数	用語	説明
7	溶融固化処理	焼却灰等の廃棄物を加熱し、高温の条件下で有機物を燃焼させるとともに、無機物を溶融した後に冷却し固化することです。
38	余熱利用	ごみを焼却した際に発生する排ガスの保有する熱エネルギーを、回収して利用することをいいます。

【ら行】

頁数	用語	説明
47	ランドマーク	地上の目印のことでその土地の目印や象徴になるような建造物のことをいいます。
3	リサイクル	製品化された物を再資源化し、新たな製品の原料として利用することを指します。同一種の製品に再循環できないタイプの再生利用についても広くリサイクルに位置付けられます。リデュース（Reduce、減量）、リユース（Reuse、再使用（Returnable use、返却使用する））と共に3Rと呼ばれます。
3	リデュース	切り詰める、縮小する、減らすと言う意味で、ごみの発生抑制のことです。
3	リユース	一度使用された製品を、そのまま、もしくは製品のある部品等をそのまま再利用することを指します。